

報道関係者各位

## トレンド調査

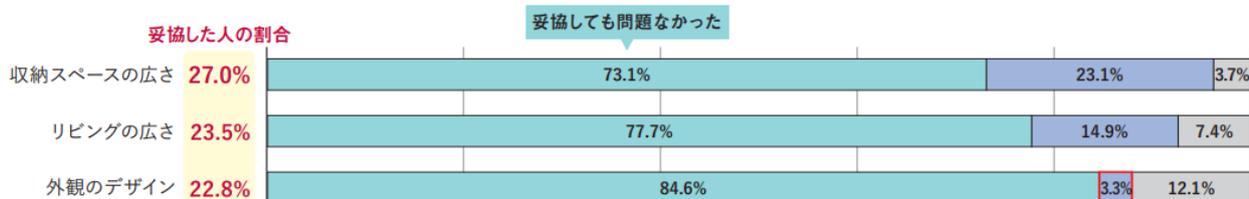
### —住まい探しの妥協ライン調査～購入編～—

## 当初希望していた通勤・通学時間より約17分遠くても妥協できる 「宅配ボックス」を妥協した人の6割以上が「妥協しても問題なかった」

不動産情報サービスのアットホーム株式会社(本社:東京都大田区 代表取締役社長:鶴森 康史 以下、アットホーム)は、過去2年以内(2020年10月以降)に、一戸建て・マンションを購入した18～50歳を対象に途中でこだわるのを諦めた条件・設備に関する調査を実施いたしました。

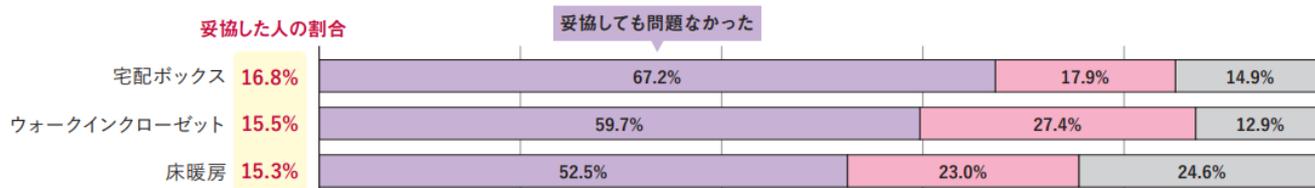
### トピックス

- 住宅価格の妥協ラインは予算の1.3倍
- 当初希望していた通勤・通学時間より17.6分遠くても妥協できる
- 5人に1人が「収納スペース」「リビングの広さ」「外観のデザイン」を妥協  
それぞれにおいて6割以上が「妥協しても問題なかった」と回答



■ 妥協しても問題なかった ■ 妥協して後悔している ■ そもそも必要なかった/そもそも重視していなかった ※「その他」4.5%、「妥協はしていない/当てはまるものはない」19.0%

- 妥協した設備の最多は「宅配ボックス」で6割以上が「妥協しても問題なかった」と回答  
一方、「妥協はしていない」が44.3%と設備にはこだわる様子



■ 妥協しても問題なかった ■ 妥協して後悔している ■ そもそも必要なかった ※「その他」2.0%、「妥協はしていない」44.3%

## 調査結果

### ■ 住宅価格の妥協ラインは予算の 1.3 倍

当初希望していた通勤・通学時間より 17.6 分遠くても妥協できる

Q.「住宅価格」「契約時の築年数」「広さ(延床面積)」「最寄り駅までの徒歩分数」「通勤・通学時間」を教えてください。(自由回答)

Q.当初の「住宅価格の予算の上限」、当初希望していた「築年数の上限」「広さ(延床面積)の下限」「最寄り駅までの徒歩分数の上限」「通勤・通学時間の上限」を教えてください。(自由回答)

(算出方法)

(有効回答数)

住宅価格の妥協ライン	$\frac{\text{妥協した人の実際の住宅価格(平均)}}{\text{妥協した人の当初の予算(平均)}}$	118	予算の <b>1.3 倍</b> まで妥協できる
築年数の妥協ライン	妥協した人の平均築年数－当初の築年数の上限	63	当初より <b>11.1 年</b> 古くても妥協できる
広さの妥協ライン	妥協した人の平均㎡数－当初の㎡数の下限	84	当初より <b>14.0 ㎡</b> 狭くても妥協できる
最寄り駅までの徒歩分数の妥協ライン	妥協した人の平均分数－当初の平均分数の上限	119	当初より <b>8.6 分</b> 遠くても妥協できる
通勤・通学時間の妥協ライン	妥協した人の平均分数－当初の平均分数の上限	102	当初より <b>17.6 分</b> 遠くても妥協できる

住宅価格を妥協したと答えた人の中で、実際の住宅価格と当初の価格の予算の上限を聞き、住宅価格の妥協ラインを「実際の住宅価格÷当初の住宅価格」で算出したところ、全体で予算の 1.3 倍まで妥協していたことが分かりました。

築年数を妥協したと答えた人の中で、築年数の妥協ラインを「契約時の築年数－当初希望していた築年数の上限」で算出したところ、全体で当初より 11.1 年古くても妥協していたことが分かりました。妥協しても問題なかった理由を聞いたところ、「建物自体は免震構造で、共用部分の清掃・管理もきちんとなされていたため(中古マンション)」といった声がありました。

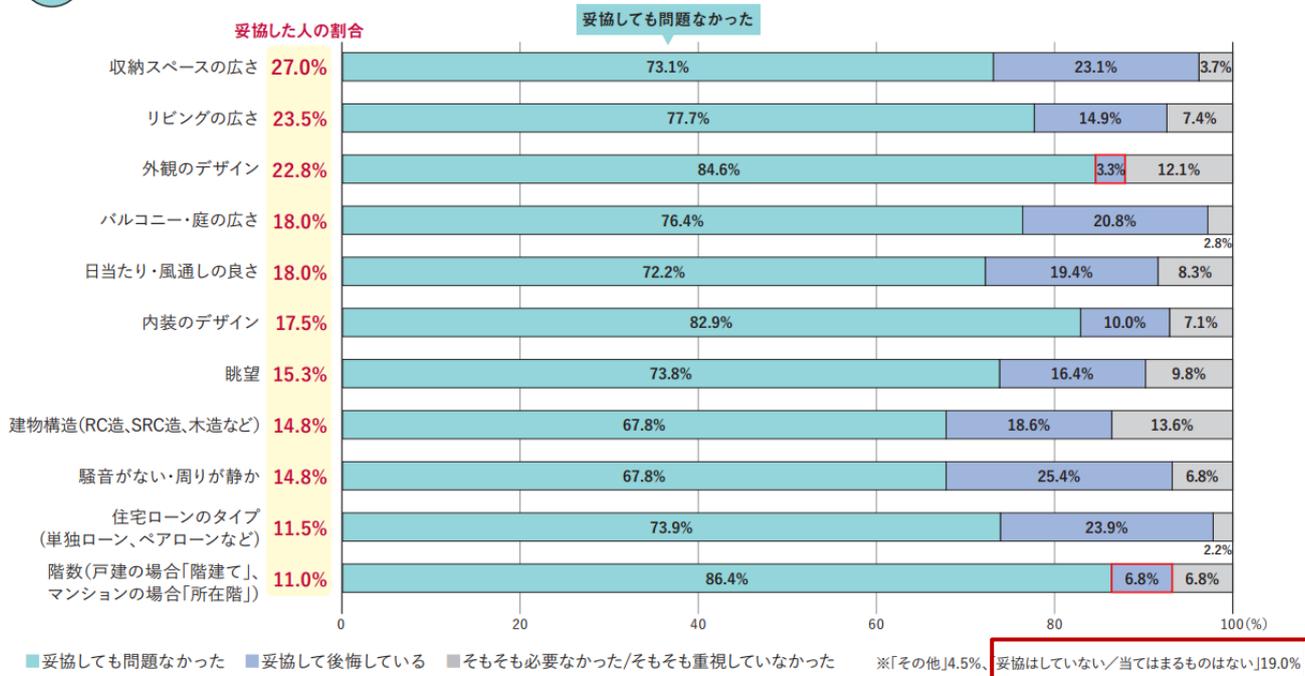
また、広さも同様に算出したところ、全体で当初より 14.0 ㎡狭い物件で妥協していました。妥協した人に妥協して問題なかった理由を聞いたところ「手持ちの家具をおいても何とかあったから(新築マンション)」といったコメントがありました。

最寄り駅までの徒歩分数は全体で当初より 8.6 分、通勤・通学時間は全体で当初より 17.6 分遠くても妥協していました。妥協して問題なかった理由を聞いたところ、最寄り駅までの徒歩分数を妥協した人からは「自転車を使えばすぐだったから(新築一戸建て)」、通勤・通学時間を妥協した人からは「以前と同じくらいの時間帯の出勤で済んでいるから(中古一戸建て)」といった声がありました。また、「在宅勤務が増えたので妥協しても問題なかった(新築マンション、中古マンション、中古一戸建て)」という現代ならではの声も複数見られました。

■ 5人に1人が「収納スペース」「リビングの広さ」「外観のデザイン」を妥協  
それぞれにおいて6割以上が「妥協しても問題なかった」と回答

Q 妥協したことは何ですか？(複数回答)

Q 妥協してどうだったかを教えてください。(各項目で「妥協した」と回答した人)



住まいの条件の中で、妥協したことを聞いたところ、「収納スペースの広さ」で27.0%と最も多く、次いで「リビングの広さ」23.5%、「外観のデザイン」22.8%と5人に1人が妥協していました。妥協してどうだったかを聞いたところ、いずれも6割以上が「妥協しても問題なかった」と回答しています。

「収納スペース」は、自分や家族の持ち物が多いと妥協しづらい条件の一つですが、妥協した人の73.1%が妥協しても問題なかったと回答しました。実際に妥協して問題なかった人からは「断捨離する良い機会になるから(中古マンション)」といった前向きなコメントが見られました。

「リビングの広さ」は、家族がくつろぐ空間のため広ければ広いほど良いと考えがちですが、妥協した人の77.7%が妥協しても問題なかったと回答しました。理由を聞いたところ、「物を出しっぱなしにしないことで広々使えるから(新築一戸建て)」「住んでしまうと狭さを感じなかったから(中古一戸建て)」という声がありました。

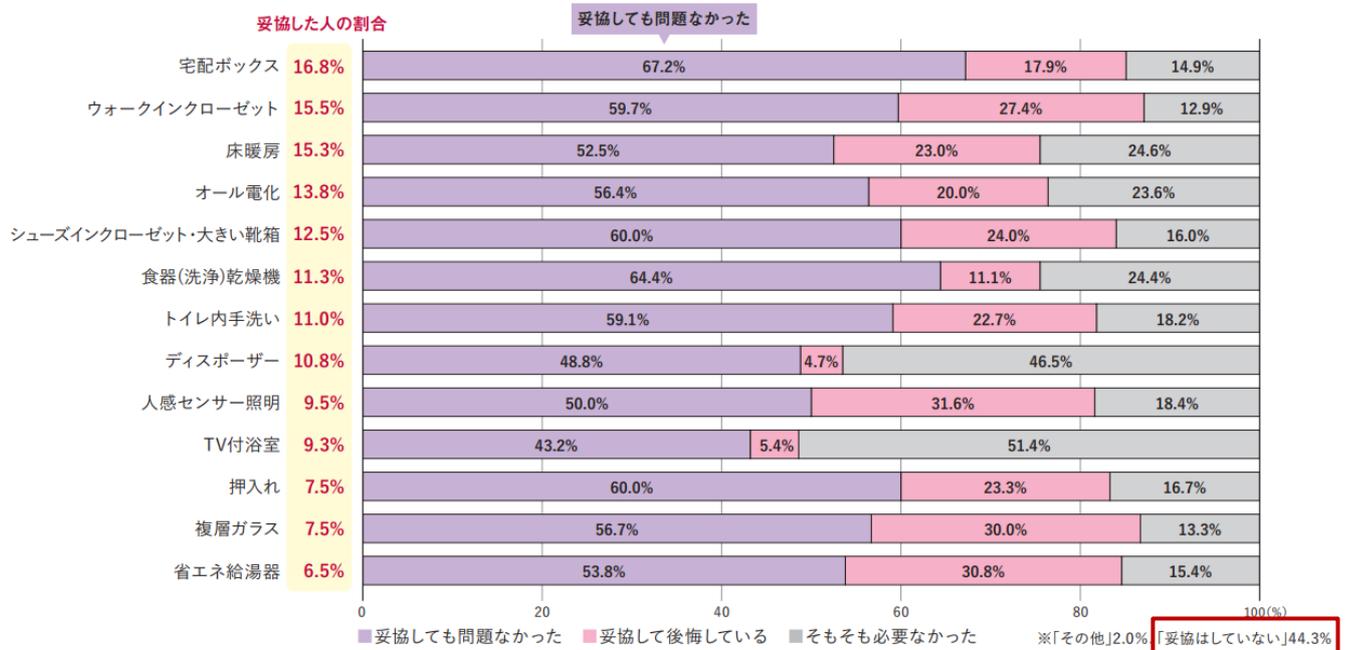
「外観のデザイン」は、家の顔ということもあり、おしゃれさやありきたりでないデザインにこだわりたい部分ではありますが、妥協した人の84.6%が妥協して問題なかったと回答しました。理由には「住んでみたら気にならなかったから(中古マンション)」「自分では妥協したと思っても意外と来客に褒められたから(新築マンション)」といったコメントが見られました。

一方、妥協した人の中で、「妥協して後悔している」割合が最も少なかったのは「外観のデザイン」3.3%、次いで「階数」6.8%でした。特に「外観のデザイン」は妥協した割合が22.8%と3番目に多いため、妥協できて、かつ後悔しない条件と言えそうです。

■ 妥協した設備の最多は「宅配ボックス」で6割以上が「妥協しても問題なかった」と回答  
一方、「妥協はしていない」が44.3%と設備にはこだわる様子

Q 妥協した設備は何ですか？(複数回答)

Q 妥協してどうだったかを教えてください。(各項目で「妥協した」と回答した人)



住まいの設備の中で、妥協したものを聞いたところ、最も妥協していたのは「宅配ボックス」で16.8%でした。次いで「ウォークインクローゼット」15.5%、「床暖房」15.3%でした。

「宅配ボックス」は、再配達を頼むことなく、自分のタイミングで受け取れる便利な設備ですが、妥協した人の67.2%が妥協しても問題なかったと回答しています。実際に妥協して問題なかった人からは「置き配を利用できるから(新築マンション)」「お互いの休日に上手く受け取ることができているから(新築一戸建て)」といったコメントがありました。

「ウォークインクローゼット」は、洋服などをたくさん持っている人には気になる設備ですが、妥協した人の59.7%が妥協しても問題なかったと回答しました。理由としては「普通のクローゼットで十分、使い勝手に問題はないから(新築マンション)」「和室の収納を工夫して、バッグやベルトなどの保管場所を増やしたから(中古一戸建て)」という声がありました。

「床暖房」は、寒い冬でも快適に過ごせる設備ですが、妥協した人の52.5%が妥協しても問題なかったと回答しました。妥協した人からは「気密性の高い家にしたのでそんなに寒くないから(新築一戸建て)」「他の暖房機器があれば十分だから(中古マンション)」といったコメントがありました。

一方、「妥協はしていない」と回答した人は44.3%でした。条件を妥協していない人の割合19.0%(3ページ)と比べ割合が高いことから、多くの住宅購入者が設備にはこだわって住まいを選んでいるようです。

## 調査概要

■調査対象／過去2年以内(2020年10月以降)に住まいを探し、一戸建て・マンションを購入した18～50歳の男女400名

新築マンション	100名
中古マンション	100名
新築一戸建て(注文住宅を含む)	100名
中古一戸建て	100名

■調査方法／インターネットによるアンケート調査

■調査期間／2022年11月1日(火)～11月4日(金)

※小数第2位を四捨五入しているため、合計100%にならない場合があります。

### <調査結果について>

アットホームでは本調査をはじめ、賃貸物件に住む人や一戸建て・マンションを購入した人などに住まいに関する調査を定期的に行っています。その他に「不動産取引における書類のオンライン化・電子サインに関する実態調査」や「住まい探しで見落としがちな物件情報ランキング」など不動産業界のトレンドに合わせた調査も実施しています。過去の調査結果など詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

### <調査に関するお問合せ>

アットホーム株式会社 広報・調査担当 佐々木・西嶋

TEL:03-3580-7504 / E-mail:[contact@athome.co.jp](mailto:contact@athome.co.jp)

## 会社概要

- 会社名 : アットホーム株式会社
- 創業 : 1967年12月
- 資本金 : 1億円
- 年商 : 299億2300万円(2021年6月～2022年5月)
- 従業員数 : 1,645名(2023年1月末現在)
- 代表者名 : 代表取締役社長 鶴森 康史
- 本社所在地 : 東京都大田区西六郷 4-34-12
- 事業内容 : ●不動産会社間情報流通サービス
  - ・ファクトシート・リスティング・サービス(図面配布サービス)
  - ・ATBB(不動産業務総合支援サイト)
  - ・官公庁等の物件情報提供サービス●消費者向け不動産情報サービス
  - ・「不動産情報サイト アットホーム」
  - ・「お部屋探しアプリ アットホームであった！」など●不動産業務支援サービス
  - ・「ホームページ作成ツール」など、ホームページ運営支援
  - ・「不動産データプロ」「地盤情報レポート」など、不動産調査支援
  - ・「VR内見・パノラマ」「おすすめコメント」など、集客支援
  - ・「賃貸管理システム」「スマート申込」「スマート物確」など、業務支援
  - ・「セミナー・研修会」など、知識習得支援
  - ・集客、店舗・物件プロモーションツールなど、不動産業務用ツール
- 加盟・利用不動産店数 : 62,249店(2023年2月1日現在)
- 会社案内 : <https://athome-inc.jp/>

---

### 【本件に関するお問合せ先】

アットホーム株式会社 PR事務局 ビルコム株式会社 担当: 田中・荒木  
TEL: 03-5413-2411 E-mail: athome@bil.jp

アットホーム株式会社 マーケティングコミュニケーション部 広報担当: 佐々木・西嶋  
TEL: 03-3580-7504 E-mail: contact@athome.co.jp